

古賀市海津木苑運営委員会(令和5年度12月期) 会議録

1. 日時: 令和5年12月19日(火)15時00分 開会
2. 場所: 古賀市海津木苑 研修室

3. 出席委員(12名)

委員長	渡 孝二	副委員長	安武 正一
委員	長崎 正幸	委員	智原 和子
委員	平木 尚子	委員	伊藤 康義
委員	三好 貴一	委員	三好 収
委員	森 里子	委員	野村 哲也
委員	小山 貴史	委員	足立 英樹

4. 欠席委員(2名)

箕原 弘二委員 長崎 裕治委員

5. 傍聴者数

なし

6. 事務局出席職員職氏名

市民部長	柴田 武巳	環境課長	吉永 ゆかり
海津木苑長	吉田 義昭	海津木苑係長	国本 勝喜
海津木苑職員	三好 弘実		

概要

15:00 開会

1. 古賀市あいさつ
2. 委員長あいさつ
3. 協議事項
 - 1) 会議録について 資料.1
 - (1) 10月期運営委員会会議録
 - (2) 12月期会議録署名

【質疑・意見】なし
 - 2) 海津木苑運営に関する実施状況について

- ・令和 5 年度 10 月及び 11 月の処理状況について 資料.2 資料.3
- ・新旧処理施設維持管理費比較 資料.4

【質疑】

副委員長 : 1 年間くらい慣れるまで、令和 5 年度の 1 年間か、令和 5 年の 1 年間、になると思うが、10 月くらいから切替が始まっているので、9 月からさかのぼっての 1 年間の平均と、今度福津市も含めての比較表を作って頂いているが、次の運営委員会では 12 月、1 月の分と比較が分かりやすいように作って頂きたい。1 年間くらいのスパンで見比べたら、今後の運営委員会がスムーズに行くのではないか。

【答弁】

海津木苑長 : 次回の運営委員会からおこなう。

【質疑】

委員長 : 助燃剤になるが、料金はかかるのか。

【答弁】

海津木苑長 : 料金はかかる。

【意見】

副委員長 : どこかのし尿処理施設は堆肥などを作る取組を行っているが、ようやく稼働したので提案してもと思うが、将来の構想としてお金がかからないプロジェクトなどを立ち上げていただければ、資源循環型形成の施設になると思うので、検討していただきたい。

3) 令和 5 年度第 2 回臭気測定及び騒音・振動測定結果について 資料.5

【質疑・意見】なし

4) 海津木苑施設等啓発について 資料.6

【質疑】

委員 : 11 月 6 日に青柳小学校 4 年生の見学時に保護者が参加したと掲載されているが、約 40 名子どもたちが参加した中の 2 名保護者が参加した経緯を聞きたい。

【答弁】

海津木苑係長 : 学校の先生と事前協議を行う段階で、学校側から保護者全員に案内をしている。12 月 1 日に見学をする予定だったが、その時点では 5 名の参加予定であったが、日にちの変更があったため 2 名の参加となった。

【意見】

委員

： 保護者への呼びかけを学校側がしたということは評価できると思う。もう 1 点、地元が古賀西小学校区にあるが、古賀西小学校の先生の感想を読んでの感想だが、イメージで判断していたことや思い込みのおかしさに気づきはじめていますと書いてある。4 年生の子どもが、イメージで今まで判断していたことのおかしさに気づきはじめていますということに疑問を感じているのは、幼児教育で 35 年務めてきた中で、一例を思い浮かべた。毎年、運動会をおこなっていて、物凄く走るのが遅い女の子がいた。年長さんになったらバトンタッチで他のクラスの子達と競争するというプログラムがあった時に、その子がいるクラスは、どうせ〇〇ちゃんがいるので 1 番最下位だというイメージで、頑張ろうとしない。そこで先生は、やる気がないこの子達をどうしようかということで、同じクラスの子たちが一生懸命〇〇ちゃんに関わり、機運が高まって結果最下位にはならなかった。教師がそこにおかしさや、子どもたちが気付いているのはどうゆうことなのかというところに力をいれたおかげで、子どもたちの捉えをどう教育に取り上げていくのか、とても大事なことだと思ったときに、この先生は海津木苑の見学が初めての経験だったのかと思い残念な気持ちです。毎回ここで言うように先生の人権意識がどれだけあるかでそのクラスの人権に関する捉えが、5歳でも6歳でも伸びていくものだと思う。

【質疑】

委員

： 何故ここに海津木苑があるのか、ここにいる方は理解されていますか。

【意見】

副委員長

： 区長の立場として、子ども会に関わる中で、子どもと話をしていると感性と感じ方が素直である、どちらかという学校の先生や親の方が心配になる。それが現状ではないかと思う。しかしながら伝えていかなければ、先には進まない。微力ではあるが携わった人たちには、伝え、感じてもらい少しでも変わってもらえるようになるのが啓発だと思っている。施設の運営が一番であるが、今後施設啓発をどのようにステップアップしていくのか、色々な意見を踏まえながら取り組んでいただきたい。今後の研修予定等分かれば教えて頂きたい。

【答弁】

海津木苑長 : 今後の研修だが、1月に市職員の人権問題後期研修がある。2月には隣保館でよかよか広場というものがあり、海津木苑の研修室を活用するがそのときにも海津木苑の研修を兼ねて行う予定。3月の区長会でも施設研修を兼ねて行う予定である。

【意見】

委員 : この前、12月に古賀リーパスプラザで市民のつどいがありましたが、組坂さんが講師で来られた時に、学校の先生は部落の中に入って勉強しなさいと言われていた。私の子どもが小学校のときに、解放子ども会を作ったが、学校の先生がもう家に来るなど言いたくなるくらい来る。今の先生はこの40年全然来ない。どこで部落問題を学んで、何のためにし尿処理問題を学んでいるのかというのがこの中に全く入っていない。その辺りをどうにかしたいと考えている。教育委員会の方に私がこのようなことを言っていたということを伝えてほしい。

4. 報告事項

次期し尿処理施設建設について

・古賀市汚泥再生処理センター整備事業について

【質疑・意見】なし

5. その他

16時00分 閉会

以上

この会議録が正確であることを証明するため、会議録署名人として次に署名捺印する。

令和6年 月 日

委員長

印

委員長の指名する出席委員

印